

美しい瀬戸内海を彩る技術の結晶

瀬戸大橋

— 世界規模の橋を支える土木技術を体感する —

瀬戸大橋は、岡山県倉敷市と香川県坂出市の海峡部約9.4kmを結ぶ6つの橋から成る、世界最大級の道路と鉄道の併用橋です。潮流や台風、地震、複雑な海底の地質などの厳しい条件を克服するため、着工から約10年の歳月をかけ、我が国の土木技術・架橋技術の粋を集めて建設されました。

毎年春・秋に開催される「瀬戸大橋スカイツアー」では、普段は立ち入ることができない橋台内部や管理用通路を経て、海面から175mの高さにある北備讃瀬戸大橋の塔頂部まで登ることができ、昨年は定員1,200名に対し、1,534名からの参加応募がありました。

平成30年4月10日に瀬戸大橋は開通30周年を迎え、これを記念して、瀬戸大橋スカイツアーをはじめ様々なイベントが開催されます。塔頂から見下ろす圧倒的な景色や、世界最大級の道路鉄道併用橋の壮大なスケール感を体感しにぜひお越しください。

詳細は、ホームページで確認できます。
<http://www.jb-honshi.co.jp/seto-ohashi/>



北備讃瀬戸大橋
塔頂からの眺め

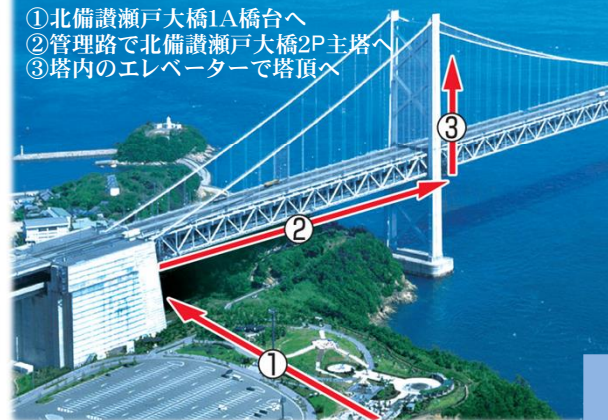


JR瀬戸大橋線が真横を駆け抜ける管理路



瀬戸大橋スカイツアー 行程

- ①北備讃瀬戸大橋1A橋台へ
- ②管理路で北備讃瀬戸大橋2P主塔へ
- ③塔内のエレベーターで塔頂へ



インフラ
ツーリズム